

第5学年2組 道徳科 学習指導案

実施日 令和〇年〇月〇日
指導者 〇〇 〇〇

1 授業の構想

主題名【自由とは】 内容項目【A 善悪の判断、自律、自由と責任】
(教材名「うばわれた自由」 出典 光村図書 道徳5 きみがいちばんひかるとき)

ねらい	ジェラールの自由に対する考え方とその行為の結果を話し合うことを通して、自由は自分勝手とは違うこと、自由な行動にも責任が伴うことの大切さに気づき、自律的で責任ある行動をしようとする態度を育てる。
ねらいについて	本時のねらいは、内容項目の「自由と責任」を焦点化し、「自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をすること」について考えを深めるよう設定したものである。 学校生活における児童の実態は、自主的に考え、行動しようとする気持ちはあるが、一方で、自由の捉え違いをして自分勝手な行動をとってしまうことも少なくない。そこで、自分の意志で考え行動することやその影響を意識し、その中での自由の在り方について理解できるようにする。また、対話を通して多面的・多角的に考えることを大切にし、自らの自律的で責任ある行動のよさについて、考えを一層深めることにつなげていきたい。
ねらいに近づけるための手立て	<p>「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」</p> <p>【めあて】 事前に教材を読み、自分事として自由や責任について考えることで、めあてをもてるようにする。導入では既習の「いこいの広場」での学びを振り返り、自由に対する自分の考え方から問題意識を高め、授業のめあてを設定する。</p> <p>【振り返り】 これまでの自由に対する自分の考え方や行動を、導入での問題意識を基に、展開、終末で想起する場面を設定することで、学習全体を通してどのようなことが自由や責任といえるのか、自分事として考えたり、学びによる自分の変容を実感したりできるようにする。</p> <p>【対話】 対話する目的や課題を明確にすることで、自由であるために大切にしなければならないことは何かという問題意識を解決し、友達と語り合いたいという思いを高める。自分の生活経験を想起しながら話し合うことを通して、多様な考えや自分の心の弱さを感じたり、授業支援アプリに提出した回答を共有したりすることで、ねらいについての考えを広げたり、深めたりできるようにする。</p>
子どもの実態 35人	児童は、既習の「いこいの広場」で「迷惑をかけなければいいという考え方では、責任ある行動とはいえない」などの考えをもっている。一方でアンケートでは「自分が好きなようにできるから自由は楽しい」という回答が約8割あった。日常生活では相手や周りの状況を考えた自律的な行動も見られるが、児童だけの場面では心の弱さから周囲への影響を考えない自分勝手な行動をとることもある。自分勝手な行動が他にどんな影響を及ぼすのか、そもそも自由とは何かという本質的なことを考えようとする児童は少ないと思われる。

【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	
第1学年及び第2学年	よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。
第3学年及び第4学年	正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。
第5学年及び第6学年	自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をすること。
中学校	自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。
第5学年（5月） 「いこいの広場」 主題名：責任ある行動とは	第5学年（1月） 「うばわれた自由」 主題名：自由とは
	第6学年（9月） 「気に入らなかった写真」 主題名：責任を自覚して

2 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT 機器等
導入	5	1 本時のめあてをもつ	○「いこいの広場」で学んだことを思い出しましょう。 ・迷惑をかけないからといって、ルールを破るのは自分勝手に無責任だ。	○既習の自由と責任について想起した上で、本時のめあてを設定していく。	学習記録 ・道徳ノート ・学習支援アプリ ・心の数直線
	自由であるために大切なこととは何かを考えよう。				
展開	10	2 教材を基に、自由や責任について考える。 (1) ジェラルールの自由に対する考え方について話し合う。	○ジェラルールは自由をどのようなものだと考えていましたか。どう思いますか。 ・自分の好き勝手にすることが自由だと考えている。周りに迷惑をかけているから、本当の自由とは言えない。 ・自分たちもジェラルールと同じように、自由は楽しいと考えていた。自由に伴う責任について考えが足りないところは同じだと思う。	○事前読みの内容をペアで確かめる。 ○前時の学びを踏まえ、自由と自分勝手の違いに迫った上で、ジェラルールに足りない考え方に迫る。 ○問い返しによって、理由や根拠を明確にし、自分たちの生活を基に想起できるようにする。	アンケート 構造的な板書の工夫
	15	(2) 自由に伴う責任とは何かを考える。	○自由だからこそ、大切にしなければならぬ責任とは何でしょう。 ・自由と自分勝手は違う。自由には自己責任も伴うから、様々な場面で自分が考え判断していくことが大切だと思う。 ・自由は自分にも相手にもある平等なものだから、お互いの自由を大切にしないといけない。	○グループで話し合い、自由に伴う責任について、多様な考えが出せるようにする。 ◎自由とそれに伴う責任について、多面的・多角的な視点から考えようとしている。(メモ・発言)	思考ツール ・学習支援アプリ
	10	3 これまでの自分の自由と責任に対する態度を振り返る。	○これまでの自分は、自由と責任についてどう考えていましたか。これから自由と責任をどのように考えていきますか。 ・委員会活動の時に… ・班長だから…	○自分の生活の中で自由を感じたり、責任ある行動について考えたりしたことを想起することで、考えが深まるようにする。	学習記録 ・道徳ノート ・学習支援アプリ
終末	5	4 学習のまとめを共有する。	○友だちの考えと比べながら、自分の自由に対する考えの深まりを確かめる。	○心の数直線で考えの深まりを可視化することで、自分の変容を実感できるようにする。	・学習支援アプリ ・心の数直線

道徳科

第5学年2組 道徳科 学習指導案

小学校・道徳

実施日 令和〇年〇月〇日
指導者 〇〇〇〇

1 授業の構想

主題名【自由とは】 内容項目【A 善悪の判断、自律、自由と責任】
(教材名「うばわれた自由」 出典 光村図書 道徳5 きみがいちばんひかるととき)

ねらい	ジェラルールの自由に対する考え方とその行為の結果を話し合うことを通して、自由は自分勝手とは違うこと、自由な行動にも責任が伴うことの大切さに気づき、自律的で責任ある行動をしようとする態度を育てる。
ねらい	本時のねらいは、内容項目の「自由と責任」を焦点化し、「自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をすること」について考えを深めるよう設定したものである。 学校生活における児童の実態は、自主的に考え、行動しようとする気持ちはあるが、一方で、自由の捉え違いをして自分勝手な行動をとってしまうことも少なくない。そこで、自分の意志で考え行動することやその影響を意識し、その中での自由の在り方について理解できるようにする。また、対話を通して多面的・多角的に考えることを大切にし、自らの自律的で責任ある行動のよさについて、考えを一層深めることにつなげていきたい。

ねらい(主題から変更)について

- ・内容項目から「ねらいとする道徳的価値」について焦点化して書く。
- ・実態をもとにした授業者の意図を明確にする。
- ・めざす児童の姿を明確にする。

内容項目

各学年段階における内容項目を、全て示す。

【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	
第1学年及び第2学年	よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。
第3学年及び第4学年	正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。
第5学年及び第6学年	自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をすること。
中学校	自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。

第5学年(5月) 「いこいの広場」 主題名：責任ある行動とは	→	第5学年(1月) 「うばわれた自由」 主題名：自由とは	→	第6学年(9月) 「気に入らなかった写真」 主題名：責任を自覚して
--------------------------------------	---	-----------------------------------	---	---

展開

ねらいとする道徳的価値について考える学習活動にする。

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT機器等 学習記録 ・道徳ノート
	10	(1)ジェラルールの自由に対する考え方について話し合う。	○ジェラルールは自由をどのようなのだと考えていましたか。どう思いますか。 ・自分の好き勝手にすることが自由だと考えている。周りに迷惑をかけているから、本当の自由とは言えない。	○事前読みの内容をペアで確かめる。 ○前時の学びを踏まえ、自由と自分勝手の違いに迫った上で、ジェラルールに足りない考え方に迫る。 ○問い返しによって、理由や根拠を明確に	アンケート 構造的な板書の工夫
	10	3 これまでの自分の自由と責任に対する態度を振り返る。	○これまでの自分は、自由と責任についてどう考えていましたか。これから自由と責任についてどう考えていくことが大切だと思う。 ・自由は自分にも相手にもある平等なものだから、お互いの自由を大切にしないではいけない。	◎自由とそれに伴う責任について、多面的・多角的な視点から考えようとしている。(メモ・発言) ○自分の生活の中で自由を感じたり、責任ある行動について	

評価に当たっては、

一面的な見方から多面的・多角的な見方へ発展させているか
道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか
評価する。

ねらいとする道徳的価値と関連する教材

本時(太枠)を中心に、同じ内容項目の前後の教材を示す。学年をまたぐ場合や本時が端にくる場合もある。